投票番号
13

ケアリーバーサポート「ねっこ」活動
社会的養護就労支援「みちしるべ東部」

沼津市双葉町に「ねっこ」はあります。
くもん開北小前教室内（火金教室運営）

ねっこの休日：日曜不定期

ねっこの日：水曜午後

居場所「ねっこ」の運営：週1回の「ねっこの日」を開放し、カードゲームなどの日常の交流を通じて、若者と地域住民が自然に繋がれる「実家のような場」を提供します 。

「みちしるべ東部」による社会体験：地域企業と連携したインターンシップなどを通じ、単なる雇用創出ではなく、不足しがちな社会性を身につける「体験」の場を提供し、社会的自立を後押しします 。

季節のイベントと感性を育む活動：月1回の誕生日会や季節の行事を行い、沼津子ども劇場のような豊かな感性と、他者と支え合う経験を共有します 。

支援ネットワークの構築と啓発：講演会等を通じて積先生の志と本事業の意義を伝え、賛同企業や賛助会員を募ることで、地域一丸となって若者を支える体制を確立します 。

サポーター募集中
https://necc0.jp

事業のねらい

- 沼津の「集団養護」精神の継承：積惟勝先生が築き上げた、子どもを真ん中に地域で共に育つ精神を基盤とし、施設退所後も孤立しない環境を目指します 。
- 「子どもの声」が響く地域交流の再興：かつての「香貫文庫」や「青空合唱団」のように、若者の声を受け止め、地域住民と自然に触れ合える豊かな関係性を再び沼津に実現します。
- 孤立の防止と自立の土台作り：帰れる実家がない若者が安心して過ごせる「居場所」を確保し、地域との継続的な関わりを構築します 。
- 養育の連鎖を断つ：家族的な関わりを通じて、不適切な養育を受けた若者が、将来適切な養育ができるようになるための力を地域全体で育みます 。

第２号様式

事　業　計　画　書

事　　業　　名	ケアリーバーのための居場所事業「ねっこ」と「みちしるべ東部」
実　施　場　所	沼津市双葉町７－２０
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 ２０２６年　４月　１３日　　～　２０２７年　３月　３１日

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

静岡県東部地区には県内児童養護施設が 6 か所、都外児童養護施設が 2 か所あり、里親家庭も含めると多くの社会的養護経験者が地域に暮らしています。これらの方々の中には、帰れる実家がないなど、孤立しやすい状況にある方も少なくありません。そのため、誰もが安心して過ごせる「居場所」を提供し、いつでも関わりを持てる関係性を地域で構築することを目指します。

また、児童養護施設で暮らす子どもたちは、社会性を身につける経験が不足しがちです。そこで、施設入所中から地域企業と連携したインターンシップ等の就労支援プログラム「みちしるべ」を東部地域にも導入し、社会的自立を後押しします。本事業を通じて、社会的養護経験者が地域で安心して暮らし、将来に希望を持てる環境づくりを推進します。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

本事業は、静岡県東部地区の社会的養護経験者が安心して過ごせる居場所を提供し、孤立の防止と地域とのつながりを促進することを目的としています。特に、帰れる実家がない子どもや若者が、地域で継続的な支援を受けられる環境を整えます。

また、児童養護施設の子どもたちが社会性を身につける機会が不足しがちな現状を踏まえ、地域企業と連携したインターンシップや就労支援プログラム「みちしるべ」を導入します。さらに、月 1 回程度の交流イベントや学習会を開催し、社会的養護経験者同士や地域住民との交流を深めることで、社会的課題の解決と自立支援を図ります。

加えて、家族的なかかわりを通じて、不適切な養育を受けた若者が将来新たな家庭を持つ際に、養育の連鎖を断ち切り、適切な養育ができるようになる社会の実現を目指します。地域全体で若者を支え、安心して家庭を築ける力を育むことを目標とします

◎実施内容

日　　程	実施項目・作業項目
R8.4 月～R9.3 月 周知活動（講演会の開催）	伊東市在住で 40 年以上自立支援に携わる鈴木善博さん、および西部地区「みちしるべ」会長の渥美社長を招き、社会的養護経験者や支援者、地域住民を対象とした講演会を開催します。 講演会では、自立支援の実践例や、地域での支え合いの重要性について発信し、事業の趣旨を広く周知します。
月 1 回のイベント開催	社会的養護経験者やその支援者を対象に、誕生日会や季節の行事（例：花見、夏祭り、クリスマス会など）を企画運営実施します。
週 1 回の「ねっこの日」居場所開放	毎週決まった曜日に「ねっこの日」として居場所を開放します。 この日は、カードゲームなどを用意し、参加者が自由に過ごせる「何をしてもよい日」とします。 地域住民も参加可能とし、自然な交流の場を提供します。

◎事業効果

<table>
<tr><td colspan="4">※事業の実施により、期待される効果を記載してください。
社会的養護経験者が安心して過ごせる居場所を得られる
孤立の防止と地域とのつながりの促進
家族的な関わりを通じて、養育の連鎖を断ち切る力が育まれる
地域企業と連携したインターンシップや就労支援による社会性・自立力の向上
月１回のイベントや週１回の居場所開放による交流機会の増加
地域住民や支援者との自然な交流が生まれる
賛同企業や賛助会員の増加による支援体制の強化
若者が将来家庭を持つ際に、適切な養育ができる社会づくりへの貢献
地域全体で若者を支える意識の醸成と活動の継続・発展</td></tr>
<tr><td>成果指標</td><td>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。
1. 賛同企業数
初年度目標：3～5 社
地域企業や福祉関連企業を中心に、事業趣旨に賛同し協力してくれる企業を目指します。

2. ねっこへの賛助会員数
初年度目標：20～30 名
社会的養護経験者の支援に関心のある地域住民や関係者を中心に募集します。

3. イベント参加者数
月 1 回のイベント：毎回 5～10 名程度
社会的養護経験者、支援者、地域住民を含めた人数

4. 週１回の居場所開放（ねっこの日）利用者数
毎回 5～10 名程度
継続的な利用者の増加を目指します</td><td>指標の検証方法</td><td>※左記指標の検証方法を記載してください。

賛同企業数の検証
年度末に賛同企業の登録数を集計し、目標値（例：初年度 3～5 社）との達成度を確認する。
企業からの協力内容（インターンシップ受け入れ、イベント協賛など）も記録し、質的な成果も評価する。

賛助会員数の検証
賛助会員の登録・更新状況を管理台帳で記録し、毎月・年度末に集計する。
会員の参加率やイベントへの関与度も合わせて評価する。

イベント参加者数の検証
毎回のイベントで参加者名簿を作成し、参加人数を記録する。
年間の延べ参加者数や平均参加人数を算出し、目標値と比較する。

居場所開放（ねっこの日）利用者数の検証
毎週の利用者数を記録し、月ごと・年度ごとに集計する。
利用者の属性（社会的養護経験者、地域住民など）も把握し、事業の広がりを評価する。

アンケート・ヒアリングによる質的評価
イベントや居場所利用後にアンケートを実施し、満足度や事業への意見・要望を収集する。
支援の継続性や社会的課題の解決度について、参加者や協力企業からヒアリングを行う。</td></tr>
</table>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 静岡県東部地区には帰れる実家がない社会的養護経験者が多く、孤立しやすい状況にあります。本事業は、こうした若者たちが安心して過ごせる居場所を提供し、孤立防止や自立支援を図ることで、地域の活性化と公共的なニーズに応える意義ある取り組みです。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 児童養護施設や里親家庭の現状を踏まえ、地域資源や企業と連携しながら、社会的養護経験者が地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。地域住民の理解と協力を得て、地域全体で若者を支える仕組みを構築します。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 家族的な関わりを重視し、不適切な養育の連鎖を断ち切る新たな仕組みや、地域企業と連携したインターンシップ型就労支援「みちしるべ」など、児童養護施設の自立支援を携わってきた独自の視点です。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 具体的な数値目標（賛同企業数、賛助会員数、イベント参加者数等）を設定し、資金計画やスケジュールも明確です。関係者との調整や法令順守にも配慮し、費用対効果の妥当性を確保した実現可能な事業計画となっています。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 活動範囲の拡大や継続的なイベント開催、賛助会員の増加など、波及効果が期待できる事業です。主体的かつ継続的な活動を通じて、地域全体で若者を支え、自立に向けた積極的な財源確保にも取り組みます。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度以降は、自立支援拠点事業を見据え、法人化を目指して組織体制の強化を進めます。また、ケアリーバ（社会的養護経験者）のための助成金を積極的に活用しながら、事業の継続と拡充を図ります。すべての家庭が地域に根差し、適切な社会的養育を行えるような環境づくりを目指し、地域の関係機関や支援者、企業とのネットワーク構築にも力を入れていきます。これらの取り組みを通じて、社会的養護経験者が安心して暮らし、自立できる地域社会の実現に向けて、継続的かつ発展的な活動を推進していきます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

新規事業のためなし

子どもたちの「みちしるべ」として
雇用の面から支えるネットワークを…。

「みちしるべ」
会長 渥美 専治
［C&e ホールディングス株式会社 取締役会長］

全国の児童養護施設や児童自立支援施設等の社会的養護のもとでの生活を余儀なくされている、約4万7千人の子どもたち。その多くは、中学、高校を卒業後、核となる養育者、支援者が不在の中で、住居や就業先を探さなければなりません。そして、その後の生活を安定させることも決して容易なことではありません。

したがって、子どもたちが、社会でより安定した生活を送ることができるように、官民一体となった支援体制の確立が急務となっています。それを雇用の面から支える事業主のネットワークがその重要な一翼であると考えます。

事業主一人一人が「道しるべ」となり、全体の繋がりの中で、子どもたちを支えていきたいと思っています。勿論、子どもたちの雇用を義務付けるものではありません。ぜひとも、趣旨に賛同をいただき、静岡県西部地区児童福祉施設退所者の就業を支援する会「みちしるべ」に入会していただきますようお願い申し上げます。

「みちしるべ」入会のご案内

対象 事業主などの皆様

会費 年額／10,000円

お申込方法など詳細は下記にお問合せください。

お申し込み
お問合せ

社会福祉法人デンマーク牧場福祉会
児童養護施設 まきばの家 内
「みちしるべ」事務局

〒437-1311　静岡県袋井市山崎5902-169
TEL.0538-23-0770　FAX.0538-23-0771
E-mail　makiba@denmark-bokujyo.or.jp

ご案内図

交通アクセス

鉄　道　最寄り駅　JR東海道線 袋井駅

バ　ス　袋井駅南口乗り場より秋葉バスサービス「秋葉中遠線」系統［静鉄横須賀車庫行き］［大東支所行き］のいずれかに乗車し「笠原駐在所前」で下車。
バス停より徒歩40分（バス所要時間20分）
※バス停に公衆電話がございます。

タクシー　袋井駅前タクシー乗り場より乗車（所要時間15分）

自家用車　県道41号線、旧笠原保育所交差点を東へ。
笠原認定こども園、高橋モータースの前をとおり、
三沢公会堂前の信号交差点を直進。
荻原製茶、三栄社茶工場を過ぎて500m。

2023-06C1-1.0

子どもたちの生活を
雇用の面から支えるネットワーク

静岡県
西部地区

児童福祉施設退所者の就業を支援する会

みちしるべ

MI CHI SHI RU BE

児童福祉施設退所者を就業支援していくネットワーク実現へ

行政や企業などに働きかけ、
それぞれの活動や情報を共有し子どもたちを支援していく
ネットワークづくりと新たな支援の創出を目指します。

子どもたちの現状

中学や高校卒業後、子どもたちは両親やそれに代わる保護者がいない状況で住居や就業先を探さなければならず、その後の生活を安定させることも決して容易なことではありません。家族の支援が得られない中で、孤立感を深め、生きづらさを抱える子どもたちが多くいます。
児童養護施設出身者の1/4が生活保護を受けていたり（2012年大阪市調査より）、若者ホームレス（40歳未満）の1割強が児童養護施設出身者（若者ホームレス白書より）という統計があります。

ネットワーク構築の目的

- 児童福祉施設退所者の就業支援制度の進展
- 児童の福祉を増進

ネットワークの活動

- 協力事業所の普及活動
- 児童の生活並びに協力事業所への支援
- 会員相互の親睦並びに児童の福利厚生
- 勤務成績良好な児童の表彰など
- その他、本会の目的を遂げるために必要な事業

- 職場体験受け入れ
- 雇用並びに生活支援協力